

霞ヶ浦水辺ふれあい事業 事業報告書

<人と人のふれあい清掃活動>

報告：霞ヶ浦水辺ふれあい事業実行委員会 副委員長 吉田幸二

■第 48 回霞ヶ浦クリーン大作戦「53 Pick Up!・秋の陣」 報告書

去る 2020 年 11 月 8 日（日）、第 48 回霞ヶ浦クリーン大作戦「53 Pick Up!・秋の陣」が、土浦市大岩田の霞ヶ浦総合公園文化体育館前の広場で開催されました。毎年秋に開催されるこのイベントに、霞ヶ浦水辺ふれあい事業も活動の一環として協働しています。

この清掃活動では参加者から参加費を徴収し、その費用をゴミの処理費や参加者の傷害保険料として充当して運営されています。毎年、春と秋の二回開催していましたが、5 月に開催予定だった春の陣は、コロナウィルス禍の影響を受け活動を休止にしました。そんなことも影響してか、今回の秋の陣には近年では最高参加者数の 305 名が参加してくれました。

当日は 9 時からの受付でしたが、多くの参加者が集まってしまったので、前倒しで 8 時 30 分には受付を開始しました。コロナの蔓延を防ぐために、マスクやフェイスシールドの着用を予めのアナウンスで流したこともあり、参加者は全員がマスク着用で受付にソーシャルディスタンスを保ち並んでくれました。

受付の前には手指の消毒用のアルコールが設置され、受付のテントにも飛沫防止のシールドを施しました。また、専門のスタッフが「いばらきアマビエちゃん」登録を参加者に促し、ほぼ万全の態勢で受付を行いました。

受付が終了すると、軍手、キッチンペーパー、ゴミ袋が入った袋を受け取り、参加者は思い思いの場所へと向かいました。徒歩で大岩田周辺のゴミを拾うもの、車で遠方まで行ってゴミを拾って来るものなど、それぞれがそれぞれの方法でゴミ拾いをしてくれました。

この日、305 名が集めたゴミの量は 1770 kg でした。僅か二時間余りの時間にこのゴミの量が回収され、処分され、霞ヶ浦からなくなったのです。拾う努力よりも捨てさせない努力を！ と仰る方もいらっしゃいますが、まずは拾って霞ヶ浦のゴミの状況を知ることが、今後の対策を考える上でとても重要なことだと思いました。

こんな形でコロナウィルスの感染拡大を防ぎつつ清掃活動を行えるのであれば、来春も 49 回目の「53 Pick Up!」を開催したいと思っております。皆々様のご協力、誠にありがとうございました。

文責：霞ヶ浦水辺ふれあい事業実行委員会副委員長 吉田幸二

■当日の活動模様



入り口で二列になって順繰りに受け取ります。防仁太郎もマスクや手指消毒を呼びかけます。



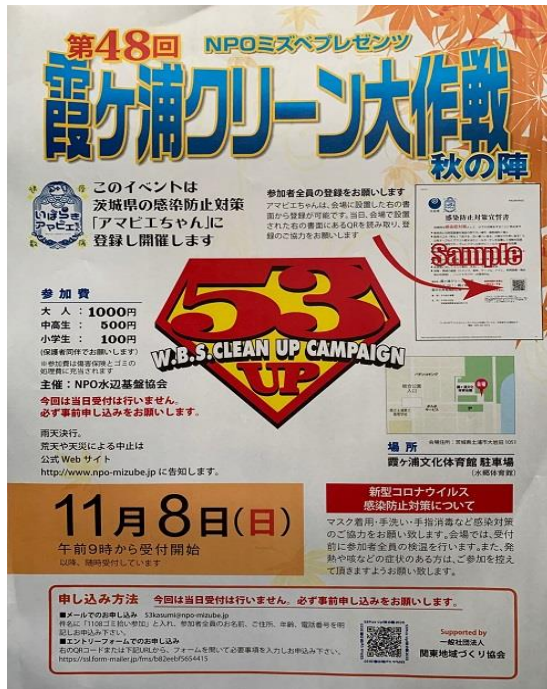
相変わらず家電製品やタイヤが目立ちます。305名 1770 kgが大型コンテナを埋めました。



湖岸には不法投棄されたゴミが山ほど！



漂着ゴミも山ほど・・・人間の愚かさです。



「53 Pick Up!・秋の陣」のポスターです。 53用のいばらきアマビエちゃん QR



清掃終了後、参加者にオニギリと茶を配布。 ゴミのない霞ヶ浦こそが財産です。

- 開催日時：2020年11月8日（日）午前9時から12時
- 参加者数：305名（一般279名、中高生5名、小学生16名、幼児5名）
- 処理ゴミ量：1770kg